

スーパーグローバル大学創成支援事業 令和2年度中間評価結

大学名	関西学院大学
整理番号	B23
構想名	国際性豊かな学術交流の母港「グローバル・アカデミック・ポート」の構築

◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価

(総括評価) A	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
<p>(コメント)</p> <p>本構想は、学生・教職員の国際流動性を高め日本の高等教育のグローバル化を牽引することを目的に、日本と海外の学生・教職員が頻繁に行き来し、多様性を学ぶ場「グローバル・アカデミック・ポート」を構築することにより、世界市民の育成を目指す取組である。そのために、「ダブルチャレンジ制度」を創成して、日本人学生の海外派遣や留学生の受け入れを促進している。また、高大連携により、学部副専攻「国連・外交プログラム」や大学院副専攻「国連・外交コース」に学生を受け入れ、長期的視野から国際公共分野のリーダーの育成を図ることを目指している。</p> <p>構想の実現に向け、「ダブルチャレンジ制度」を通じて、多くの日本人学生を海外に送り出すとともに、海外派遣の基盤となる日本人学生の英語力基準も目標値を上回る実績を挙げている。また、留学生の受け入れ環境整備として国際教育寮を3寮建設し、多くの留学生の受け入れに関して期待通りの成果を挙げている。国際通用性の向上に関する教務システムとして、クォーター制の導入、ナンバリングやシラバスの英語化、外国語による授業科目の割合や外国語のみで卒業できるコースの増加、日本人学生と留学生が共に学ぶ科目の充実などを通して、英語で学ぶ雰囲気大学で醸成されつつあり大学の国際化が着実に推進されている。</p> <p>学院創立150周年を迎える令和21年度を見据えた超長期ビジョンと長期戦略からなる「KGC2039」を策定し、その将来構想として、SGU事業を基に、「国際化を卓越したレベルにまで進化させる」としている。この実現のためにガバナンス改革を行い、総合的なマネジメントを実現し、補助金終了後も本構想の年間総事業費として、中期総合経営計画のうちSGU関連経費として4.5億円、加えてSGU推進費0.4億円、井谷憲次奨学金0.18億円の計約5.08億円を計上している点は高く評価できる。</p> <p>一方で、職員の年俸制の導入やグローバル人材育成のための人材派遣及び英語力向上プログラムの運用に遅れがみられることから、これらの課題を分析し、状況の改善に取り組む必要がある。また、国連・国際機関への職員輩出に向けた取組について、その成果を確実なものとするために、「国連・外交コース」修了生の国連・国際機関や在外公館への就職の強化策として、関学国際機関人事センターが中心となり継続的なキャリア支援を強く期待したい。</p>	